

生分解性マルチ(ナトウーラ)の効果確認試験

JAそらち南

豊作会農園



試験品(右)、慣行品(左)



慣行品(孔の状態)



試験品(孔の状態)

試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物 及び品種

大根

試験資材 及び数量(規格)

ナトウーラ(0.016mm×95cm×600m) 銀ネズ 無孔

慣行資材

カエルーチ

栽培方法

定植日
慣行区:5月10日
試験区:5月10日

収穫日
慣行区:7月中旬
試験区:7月中旬

【栽植密度】
畝幅:66cm
株間:22cm

資材使用期間

5月~7月25日

試験区面積

570㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

フィルムにしなやかさがあり展張作業性に優れていた。

慣行品より薄い分軽くて持ち運びが楽だった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品との差は見られなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】 フィルムを展張した際に、密着感が強く感じた。そのため、機械で孔をあけた際に切れ端が綺麗に中に入って風でばたつかないの良かった。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

展張作業がしやすかったことから、優れているように感じた。

(5)促成・抑制効果について

慣行品との差は見られなかった。

(6)保温効果について

慣行品との差は見られなかった。

(7)雑草・病害虫の発生について

一定の雑草抑制効果は見られた。

モニター感想

展張時の作業性が良く、マルチを張った際の密着感が非常に高く感じた。

機械であけた孔について、慣行区は切れ端が風でばたいたりしたが、今回の試験品は展張後の密着感が高いため、風が多少吹いてもフィルムの内側から切れ端が出てこなかった。

JA担当者の感想(由仁宮農センター 秋村氏)

薄肉化・長尺化のフィルムを提案したことで、軽くなったことと、機械へのセット回数の削減につながることから作業省力化につながったと感じている。

また、フィルムの物性についても柔らかさがあり、評価が高かったことから、今後の推進につなげていきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

品質的にも優位性は十分に感じられた。

あとは値段が高くなっている中、どれだけコスト低減に繋がれるものになるか。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリンテート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他